

研究の概要

20 22 年 7 月 7 日

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名：	当院における医学的適応による未受精卵凍結の現状と妊娠した例の報告
代表研究者 (所属・氏名)：	医局 中岡義晴
研究の目的：	近年、若年がん患者数は増加傾向にあるが、がん治療の進歩により予後は大きく改善している。それに伴い原疾患治療後に挙児を希望する患者は今後増えることが予想される。当院でも、2006年より医学的適応による未受精卵の凍結保存を開始しているが、今回、その現状を報告する。また、妊娠・出産した1例について報告する。
調査データ該当期間：	20 6 年 1 月 1 日 ~ 20 21 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料/情報等)：	2006年1月~2021年12月の15年間で、当院にて医学的適応による未受精卵凍結を施行した85症例について、採卵時平均年齢、平均採卵数、凍結数を検討した。また、妊娠・出産した1例について症例報告した。
個人情報の取り扱い：	個人が特定できないように連結可能匿名化を行い、個人情報を保護しています。
本研究の資金源 (利益相反)：	なし
お問い合わせ先 ：代表電話 ：担当者(部門・氏名)	06-6534-8824 生殖技術部門 阪本なつき
備考	